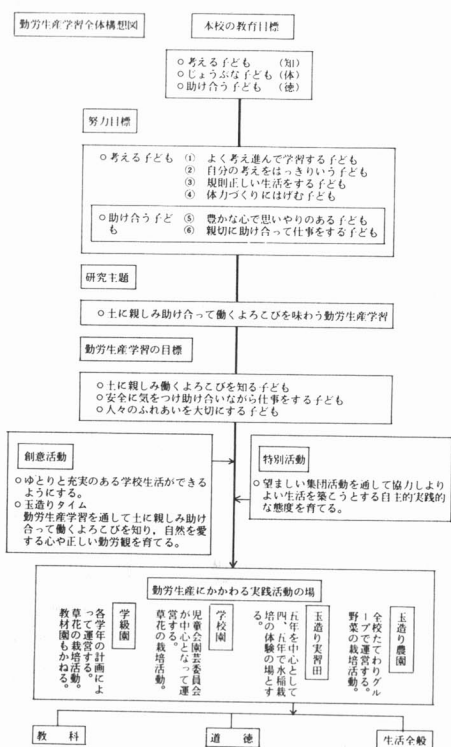


4 研究の内容

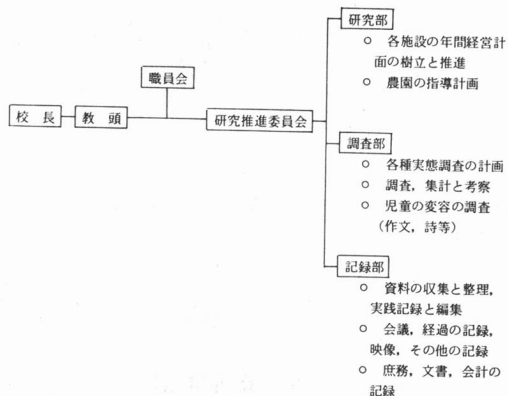
(1) 全体構造図



(2) 内容

- ① 動労生産学習の効果的な指導法の工夫
- ② 生産物の利用のあり方
- ③ 児童の変容の調査
- ④ 地域、家庭との協力、連携

(3) 組織



(4) 年次計画

59 (初年度)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 動労生産学習の共通理解 ○ 研究全体構想と研究計画の樹立 ○ 部門別計画と作物栽培の実践活動 ○ 実態調査の計画と実施 ○ 動労生産学習の指導法の工夫 ○ 教育課程との関連
60 2 (年度次)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 反省に基づく実践活動 ○ 変容の実態調査 ○ 地域・家庭との協力連携 ○ 研究の公开发表 ○ 研究のまとめと実践の発展
61 3 (年度次)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 反省に基づく実践活動 ○ 指導法の工夫と実践の発展 ○ 地域・家庭との協力連携

5 実践の概要

(1) 本校における動労生産学習のねらい

主題設定の理由でも詳しく記述してあるように、恵まれた環境を生かして、土にふれ、植物にふれさせることにより、自然を愛し、働くことの喜びや尊さを体得し、豊かな心情とたくましい実践力を育てる。更には、実践を通して様々な協力の体験をし、そのことから助け合うことの大切さも認識させる。

	1. 土に親しみ働くよろこびを知る	2. 安全に気をつけ助け合って仕事を	3. 人々のふれあいを大切にする
低学年	1. たねをまいて育てた植物をい	1. じふんでできる仕事は、す	1. 上級生の話をよくきいて仕事
中学年	1. 植物の生長に関心を持ち育	1. 上級生の話をよくきき、相	1. 自分の仕事に責任をもつ
高学年	1. 植物の栽培を通してその生長	1. 仕事に計画性を持ち、下級生	1. たてわりグループのよさを生

(2) 教育課程との関連

① 努力目標との関連

ア 努力目標の⑤と⑥

⑤豊かな心で思いやりのある子ども

美しいものや清らかなものを大事にし、崇高なものを尊び、自然のすばらしさを知り、愛護の心をもつ。

対人関係では、人を差別しないで偏見を持たないでだれとでも公平につき合う。また、人の立場や気持ちをわかり、広い心で過ちを許せる。